
生命の旋律 あわいの歌

藺田 朋子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生命の旋律 あわいの歌

【Nコード】

N3697C

【作者名】

蘭田 朋子

【あらすじ】

これもポエトリリーディングで、即興のバンドの音楽と一緒にイベント出演したときの詩。大分もとの詩を削りましたが。生命の循環をテーマにしました。

（前書き）

人の遺伝子の中にはどれだけの情報が入っていて、どれだけのご先祖の歴史が刻まれているのでしょうか。そう思うと自分の命がとても
いとおいしいものに思えるのです。

遠い記憶の隙間から　こぼれる時間

そう、走り出そうとしても走り出せない
何かが　足りない

いつも自分の足音は　自分ではきこえないのだ
誰かがそれを聞きつけて　ともにあるきだす

芽吹く緑の　痛いぐらいの乱反射
放出される
光

命は再生する
命はよみがえる
水にとけ
風にながれ
土ににじんでゆく

学校を建てた人の名前を　子供たちが知らなくても
何世代もの子供の群れは
にぎやかに同じところを通り過ぎる
川のように

命はひとつの学校にすぎない
あわただしい時間と情報と言葉と心に

洗い流されていく小さな建物

たましいは純粹に無限のかがやきを放ちながら
いつも何かを受け入れている器

ここはうごいているのではない
ただ 静かに待っているだけだ

2

どろどろに溶けた鉄のような太陽が
川の向こうに沈んでゆく

町は 夜を歌い始める

人の足がとだえ荒れ果てた公園
通りを過ぎると 街灯に照らされて
崩れかけた家が建っている
ごみだらけの道を歩き
廃屋の角を曲がれば
たくさん猫たちのねぐらがある

町で生まれて

町で死んでいくのだろう

車の騒音をゆりかごに
派手な女たちのざわめきを子守唄に育ち
ただ 忘れられてゆく町の 片隅で
ひっそりと 生きる

声も顔も持たない人々の 声と顔のひとつひとつを
ゆるされる限り身にまとい 飾り付け
汗を流して得たすべてのことを
誇りとして

町は夜を歌う
明かりの窓 ひとつひとつを
祝福 しながら

3

あたたかいスープのように
おまえとわたしのからだは混ざりあい
混ざり合いながら高いところへ昇ってゆく
行き場のない思いや雑多な生活の細かい執着は
ただひとひらの風となって通り過ぎる
終わってしまえば

世界を覆いつくす夜がきても
戦いにうちひしがれた朝になっても

からだひとつでうまれてきたの
からだひとつでできることから はじめよう

いつも 毎日
新しい毎日
細胞も心も魂も
磨かれて

進化する
そのダンスの
ステップの
断片

世界は 常に新鮮な驚きを
わたしたちに与える
その
祝福を
わたしたちは
かえす
くりかえされるリズム
くりかえされる リズム

4

あそびにいったら
ともだちをよぼうね

原っぱで
鬼ごっこをしよう
今日は晴れていて
とってもきもちがいいね

走って 走って ころがって
たどりつくのは どこだろう

鬼さんこちら てのなるほうへ
目隠し鬼は闇の中
本当に出会ったための人を さがしているよ

会うことのすべては必然という名の偶然
わかりあえない暗闇は
つづきのある物語を
つづけてゆくために試される

鬼さんこちら
手のなるほうへ

5

ほら
誰かがこの世のかたすみで
産声をあげているよ

46億年の旅をして
ようやくうまれてくるんだね
世界のすべての祭りという祭りは
おまえのために捧げられた供物だ

この世とあの世をつなぐあわいするとき
音はみちて
天上に舞う

宇宙はたった一つの爆発から 生まれ ひろがりつづける球体
もつととおくへ
もつとひろがれ 意識
命は 神々の遊び場
残酷でやさしい無言のゲーム

ほら
産声がきこえる
命を
さけんでいる

6

星たちの億光年の光が
地上にふりそそぐ
はかりしれない質量の
エネルギーは計測できても
心の距離は計算できない

雲の中に生き物があるって本当かな
海の限りなく深い溝にも
生きてうごめくものたちがいる
誰も知らない場所でも
なにかが息をしている

こころでつかまえようよ

わかりきった答えなどいらない
いつも その ことばは
この血をながれている

どこから
やってきたの
どこへ
ゆくのか

その物語は

はじめから続きの物語

そうして続いている物語

折りたたまれた永久螺旋の階段を

どこまでも どこまでも歩いていく

こころでつかまえよう

そうしたら

みえる

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3697c/>

生命の旋律 あわいの歌

2010年10月21日23時48分発行